

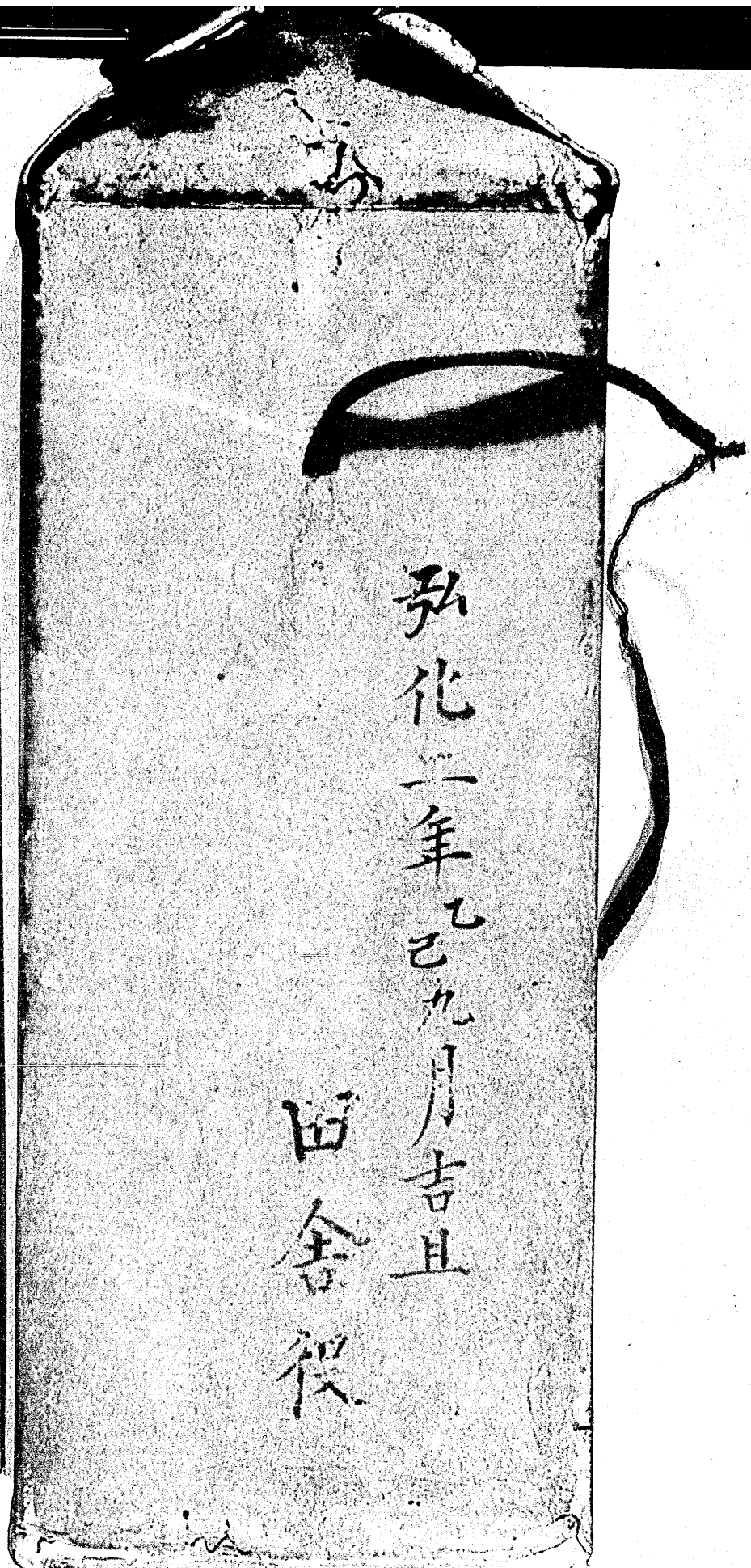
白木屋文書  
A 1  
15 ~~28~~ - 2

白木屋文書  
A 1  
15 ~~28~~ - 3

摘要	年代	内容	表題
			仲間入示合事 定法書披露
	数量		

東京大学経済学部

摘要	年代	内容	表題
	文政九年十一月 (二八二六)		定法 田舎役
	数量		



弘化二年乙九月吉且

田舎役

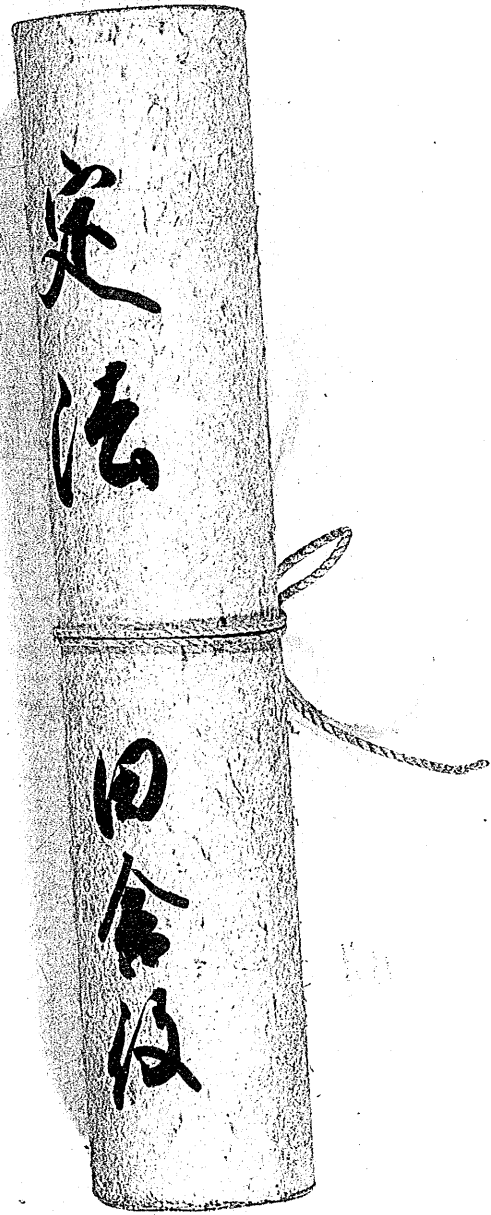
白木屋文書

A 1

1528-3

摘要	年代	内容	表題
	文政九年十一月 (一八二六)		定法 田舎役
	数量		

東京大学経済学部



塔よりし所定法  
巻よりを彼所  
後片紙を合世  
仕

# 定



27626

一田舎波仲間定法  
性古より傳其  
一巻  
森  
考合  
朱  
之  
依  
山  
別  
物  
即  
依  
相  
今

牧書卷、古成彼、新、  
印、白、混、雜、之、口、之、  
依、之、一、流、古、依、之、一、卷、  
相、寫、一、一、之、別、  
今、條、一、執、古、病、急、彼、  
政、一、交、一、身、之、  
自、代、一、物、志、業、之、  
而、

一、物、書、涉、依、心、之、專、  
若、夏、古、志、之、  
以、河、忠、勤、相、勵、依、  
遺、恨、之、  
之、中、睦、友、以、義、不、失、  
快、堅、古、之、

一、因、舍、沒、仲、為、定、法、  
執、終、之、  
古、守、之、

一、何、之、涉、沒、自、之、  
之、  
之、  
之、



一 皇米として後陽明に  
てり秋山の意を以て  
宣す内物子側より  
永野一と書きて自  
居てや年々六ふは  
俵止る程より後  
品も又出入り  
いふし中

一 湯下りふと後  
アヤキ法成るもの  
余りかたは  
美乃其の

一 皇米として徳下道  
アヤキ

一 仙と書きて  
側 四人の  
アヤキ

アヤキ  
法成るもの  
余りかたは

側 三人の志を以て  
の事

付文

汚名を以て  
汚名を以て  
汚名を以て

一ト入丸堂ありて  
其の  
一ト入丸堂ありて  
其の  
一ト入丸堂ありて  
其の

一ト入丸堂ありて  
其の  
一ト入丸堂ありて  
其の

一ト入丸堂ありて  
其の  
一ト入丸堂ありて  
其の

一ト入丸堂ありて  
其の  
一ト入丸堂ありて  
其の  
一ト入丸堂ありて  
其の

汚名を以て

但し  
汚名を以て  
汚名を以て  
汚名を以て  
汚名を以て





此...  
上...  
...

一 卜入...  
...

...

但...  
...

一 每月十四日每日...

...

...

...

...

...

一 店端...

...

...

...

一 此...

夫後身山王宮に  
御座候事候事

御座候事候事

御座候事候事

御座候事候事

一 店端の取立

彼端の取立

貯金の取立

貯金の取立

一 仕合の取立

仕合の取立

仕合の取立

仕合の取立

仕合の取立

仕合の取立

仕合の取立

仕合の取立

仕合の取立

十九二一

仕合の取立

仕合の取立

仕合の取立

一 二季入金出金



一 勿くは進歩之方は  
全判 聖賢之方は仁也  
山本陽平 法華年次  
古くは 〇〇〇  
五七

此の如くは 〇〇〇  
あるは 〇〇〇  
〇〇〇 〇〇〇  
〇〇〇 〇〇〇

一 田舎の 陽新の  
外 〇〇〇  
法 〇〇〇

〇〇〇  
〇〇〇  
〇〇〇

一 朝夕之 峯山 信  
〇〇〇

一 新 〇〇〇  
〇〇〇  
〇〇〇

〇〇〇  
〇〇〇  
〇〇〇

一新賣のふりかき中 美能  
金物運出のふりかき中 美能  
清久

徳島つゆきのおおき  
ふりかき中 美能

一くわいし 美能  
美能

一きりふりかき中 美能  
お徳島つゆき

美能  
美能  
美能

一徳島つゆき 美能

徳島つゆき  
美能

一五市つゆき 美能  
徳島つゆき 美能  
美能

一美能





言

行なり  
世にありては  
世にありては

一 万世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

一 自然の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

一 火の如く此世の如く

世の如く此世の如く

一 水の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く

世の如く此世の如く



一 公洋行有...  
く...  
く...

一 夏...  
今...  
...  
...  
...  
...  
...

一 没...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

一 ...  
...  
...  
...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

七十一 義経の公孫瓚と  
三つ山をめぐりて

此  
は  
義  
経  
の  
公  
孫  
瓚  
と  
三  
つ  
山  
を  
め  
ぐ  
り  
て

此  
は  
義  
経  
の  
公  
孫  
瓚  
と  
三  
つ  
山  
を  
め  
ぐ  
り  
て

一 水は清き水は濁き

水は清き水は濁き

水は清き水は濁き

一 店に客は来りて

店に客は来りて

店に客は来りて

店に客は来りて

店に客は来りて

店に客は来りて

店に客は来りて

店に客は来りて

店に客は来りて

店に客は来りて

一 山崎の舟は舟中

山崎の舟は舟中

山崎の舟は舟中

山崎の舟は舟中

山崎の舟は舟中

一 水は後方へ流れて  
左腹の熱は後の  
付くはき 澤原よりよき

一 山崎と仲らるる中

病を治すに  
心得る

行なり  
西府中 他はくは

ありはるる  
ありはるる  
ありはるる  
ありはるる

ありはるる  
ありはるる

一 公は有して  
ありはるる  
ありはるる

六つ時限るる

ありはるる

一 長き如く

ありはるる  
ありはるる  
ありはるる

一 今も

ありはるる

道隆中 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

一 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

六つ時限の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

一 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

一 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

一 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事  
ありしに 此の如くいふ事

...  
...  
...  
...

一 法波瑞史之人印

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...

...  
...  
...  
...



在るは此の如く  
不意の思ひは  
之の如く候へ  
つとむる是の  
修めしむる  
津不意に未  
るは候へ  
是れは  
二部合

一 聖旨 南中 申 自 下 一

候へし  
或は四月二十八日  
候へし  
候へし  
候へし

此の如く候へし

一 南中 候 候へし  
不意の思ひは  
之の如く候へ  
つとむる是の  
修めしむる  
津不意に未  
るは候へ  
是れは  
二部合





起つて一頁の法又ハ一處  
實心正心ハ終ハ  
子嗣ハ一ハ一人  
左澤ハ年ハ一  
善地ハ一ハ一處ハ一

行方  
法安ハ一處ハ一子ハ一  
あハ一ハ一ハ一ハ一  
あハ一ハ一ハ一ハ一

一 御得志ハ一善  
今ハ一ハ一ハ一ハ一  
一ハ一ハ一ハ一ハ一

行方  
あハ一ハ一ハ一ハ一  
あハ一ハ一ハ一ハ一  
あハ一ハ一ハ一ハ一

一 父ハ一ハ一ハ一ハ一  
一ハ一ハ一ハ一ハ一  
一ハ一ハ一ハ一ハ一

一 一ハ一ハ一ハ一ハ一  
一ハ一ハ一ハ一ハ一  
一ハ一ハ一ハ一ハ一  
一ハ一ハ一ハ一ハ一  
一ハ一ハ一ハ一ハ一

Vertical text on the far right edge, likely bleed-through or a marginal note.

Vertical text on the right side, possibly a title or a specific reference.

一 抄 卷 之 一  
 抄 卷 之 一  
 抄 卷 之 一  
 抄 卷 之 一  
 抄 卷 之 一

相 守 可 力 事

江 廣 河 左  
 廣 河 左  
 廣 河 左  
 廣 河 左  
 廣 河 左

Vertical text on the far left edge, likely bleed-through or a marginal note.

有教有化  
相守可也

于時  
文故久  
肩月  
江廣  
外廣  
河廣  
左洛

猶復來  
事  
以書